

スキトレ企画書

作成日：2024 年 06 月 14 日

校名： とふろう南 企画者： 吉川

活動名：み～つけた！

本活動の着眼点

視知覚機能の苦手さによる困り感を抱える児童に焦点を当て、本活動を立案

本人支援 5 領域とのつながり

☐健康・生活 ☒認知・行動 ☒運動・感覚
☐言語・コミュニケーション ☐人間関係・社会性

生活上の困り感 /目的・趣旨(ねらい)

<input type="checkbox"/> 読み書きが苦手	<input type="checkbox"/> 眼球運動の発達促進
<input type="checkbox"/> 探し物が苦手（時間がかかる）	<input type="checkbox"/> 視覚認知機能向上

活動の概要

【場所】

活動室等一番広い部屋

【所要時間】

約 10 分程度

【人数】

1 人～

【対象者】

- ・視覚のマッチングができる児童
（同じ形はどれでしょう、が分かる）
- ・～8 歳

【必要な道具】

A.お題カード（プリント・カード・パネル等）2 枚 1 組×10 組程度
or
B.お題カード（プリント・カード・パネル等）（参加人数+1）×3～5 組程度

活動の進め方

【スタッフの事前に準備する物・内容】

- ・お題：クレヨンや水筒など身近な物
- ・お題が書かれたカードやプリント等を部屋の壁や床に貼る

【進行方法・ルール】

活動内容

- A. 参加者全員で 1 つのお題から 1 つの場所を探す活動
1. お題カードを提示
 2. お題カードと同じものを探し、タッチする
 3. タッチしたものとお題カードが合っているかを確認する
 4. 次のお題を実施する（開始位置に戻ってもその場からでも良い）
- B. 1 つのお題から 1 人 1 か所ずつ場所を探す活動
- 活動内容は A と同じ

スキトレ企画書

タッチではなくカードを回収して進行スタッフに渡すことでクリアとなる

進行方法

1. 部屋の中心もしくは隅1か所（お題の貼られていない場所）に集まる
2. 活動内容の説明を行う（説明中にお題カードを配置してもよい）
3. 実施
4. 挨拶をして終了する

【進行上の留意点】

- ・押し合い取り合いが予測される為事前に声掛け・個別対応
- ・衝突や転倒等予測される為事前に声掛け・個別対応
- ・お題カードは提示したままにする

【役割：進行、個別対応】

進行：1人

個別対応：必要数

スタッフの着目点

- ・何を見て動いているか

周りの人を見て動いている

（Bの活動は周りを見てから動くだけではクリアできなくなっている）

貼られたカードを見て動いている

（どちらも目的に沿った運動だが、カードを見て動く方が好ましい）

活動を行う上での注意点

- ・児童同士のトラブルが生じやすい活動である為十分に注意する

予算

- ・お題カード 印刷費

計0円～

その他

- ・上手にできたかどうかよりも楽しく参加できたかどうかが重要
- ・目を動かして探す動きがトレーニングになる

ステップアップ

1. カードやプリントではなく実物で実施する（お題提示はカード等を使用する）
2. お題の提示方法を言語のみにする
3. ヒントを頼りに探す（例：色を塗るときに使うものです→色鉛筆・クレヨンなど）